

## 日本での交換留学

梨花女子大学

キム・ジユン

今学期は交換留学生として、お茶の水女子大学の授業を受けました。新型コロナウイルスの影響で日本に入国することができず、オンラインで授業を受けました。入国ができなかったことは残念ですが、オンライン授業も私にとってとても大切な経験でした。交換留学生として過ごした1学期を話したいと思います。

学期が始まった時は、授業に慣れることが最初の課題でした。全ての授業がオンデマンド配信ではなく、リアルタイムで行われたので各授業の開始時間を覚えるのが大変でした。しかし、だんだん慣れてきました。全般的に、留学生向けの授業は様々な外国の学生たちと意見交換ができる授業でした。また、留学生向けの授業の以外の授業は日本語が少し難しく感じましたが、興味がある分野だったので、授業の参考資料を読みながら内容を理解しようと努力しました。

今学期受けた授業の中で最も印象的な授業は「日本語演習 3B」と「消費者科学



入門」という2つの授業です。まず、「日本語演習 3B」の授業は学生たちがインタビューを行い、その内容をまとめ、パンフレットを作り上げる授業です。インタビューの対象者を決めることからパンフレットのデザイン、パンフレット印刷の注文まですべての過程を学生たちが決めていく授業ですし、作成したパンフレットは留学が終わった後、留学生生活を振り返る際に、一つの思い出になると思うため、とてもやりがいのある授業でした。完成したパンフレットは先生の研究室に預かる予定ですので、もし後で日本に入国するようになったら、取りに行きたいと思います。そして、「消費者科学入

門」の授業は、3人の先生が日本の消費者法及び政策について教えてくださる授業です。3人の先生から、現代の消費者問題、消費者権利、消費者行政など、前から興味を持った分野について様々な観点を聞くことができずごく勉強になりました。

授業以外、国際交流センターが行った折り紙教室に参加した経験を話したいと思います。折り紙教室は10月29日にzoomで行われました。折り紙でハート、カボチャ、うさぎ風船を作りました。オンラインで留学生活でしたが、このようなイベントがあるおかげで授業以外でも日本語・日本文化と接触して楽しむことができました。日本での生活ができなかったことはとても残念ですが、1学期の留学を通して、多くの先生と留学生、日本人の学生と出会い、交流することで、自分にとってもすごく貴重な経験で、いい思い出になりました。

最後に1学期、たくさんお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、指導教官の小谷先生、毎月振り返りシートを確認していただいて本当にありがとうございました。それから、萩原先生と松田先生、交換留学生である私をいつも支援してくださってありがとうございます。また、国際課の大野先生、様々な交換留学生の手続きをサポートしてくださってありがとうございます。最後に、今学期受けた授業の担当せた西坂先生、横田先生、大森先生、楽しく学べた授業を準備してくださってありがとうございました。

